

# 天竜の杉檜と生きる

〒431-3306  
静岡県浜松市天竜区船明 880  
TEL:053-926-1232  
FAX:053-926-2879

## 自然と木の新しいふれあい

～森の仕事ふれあい教室～ 浜名湖パルパル  
天竜林業 × 遠鉄観光開発株式会社



森の仕事 ふれあい教室  
チェーンソー実演  
丸太の早切り競争  
木工教室  
天竜ひのき展示  
ひのきカンナくずプレゼント  
TENKOMORI



3/22・23の2日間、浜名湖パルパルにて「森の仕事ふれあい教室」が開かれました。テーマは「ふれあい」。木と人、人と人とのふれあいの機会を演出です。  
子供たちは松のベンダントや木っ端を使った木工に熱中。お父さんは丸太の早切りにも白熱、二日間来てくれた子もいました。いい時間、空間を作り出した気がします。  
今回、(株)天竜フォレスト、(株)鈴三材木店、(株)SKY、山主、浜松市職員、市環境学習指導員、そしてイベントを提案してくれた遠鉄観光開発。多くの方の団体、個人の協力がありました。以前には想像も出来なかった新しい関係や取り組みが、実現しています。  
人々は森林や木に何か期待を寄せています。それに答えていくのも私たち林業、製材業を営む者の使命かもしれません。  
(彦坂)



GOOD DESIGN IS GOOD ARCHITECTURE

いい設計 ありがとうごさいます  
いい大工 いい素材

GOOD ARCHITECTURE IS GOOD LIFESTYLE



天竜材と自然素材だけの健康住宅 B様邸

株式会社 アズ インテリア アーキテクト  
＜浜松市内の地場の工務店さんです＞

▶浜松市東区有玉北町

柱や梁だけでなくフローリングや建具まで天竜材にこだわった地産地消の家です。脱個室主義の大空間でご家族一緒にのびのび健康的にお暮らしです。

■H20.2 完成



私はかつて弊社の平均年齢がまだ高かった頃、若い社員が増えて社内では恋が芽生えその二人が結婚される、そんな若い男女が働ける職場になったらいいなと望んでいた。それには社内の整理整頓、安全第一、作業衣(身だしなみ統一)、朝礼の実施(意識統一)、挨拶の徹底、自社カラーの特定、賃金体系の改善等々をしなくては行かない。そんな思いを長年ひそかに抱いていた。その夢がこの3月にやっと実現した。また、山で働く男性二人も地元で婚約者を見つけ3月と7月に結婚する。私にとってこんなうれしい事はない。4月12日に社内披露パーティーが挙行される予定である。春の訪れと共に弊社にも大きな花が三輪咲いた。いつまでも末永く幸せでありますよう心からお祝い申し上げます。  
(代表取締役社長 内山弘)

## 天竜人語

TEN RYU JIN GO

設立: 1946年  
社員数: 60名  
平均年齢: 39.6歳  
業務: 木材製材業(立木の直接仕入)  
資本金: 3000万円  
住所: 浜松市天竜区船明880  
TEL: 053-926-1232  
FAX: 053-926-2879  
E-Mail: info@fujiiichi.co.jp  
HP: http://www.fujiiichi.co.jp/

会社概要

詳しくはお電話で!

053-926-1232

植林 製材 建築

見学・体験会  
ご案内しています

大好評!  
フジイチの大切なお客様に。山と木と家を知るツアー

お知らせ News!

結婚おめでとう!!

- ◎ 野村洋一君・里奈さん夫妻
- ◎ 瀧澤武君・文さん夫妻



祝入社!!

- ◎ 祝 浅岡弘俊くん 29歳 (山仕事)
- ◎ 祝 平田元彬くん 20歳 (製材)
- ◎ 祝 山崎翔太くん 18歳 (製材)



# 温故知新

フジイチ社員 大紹介 ■大城 友衛さん

## ■フジイチは心のふるさと

悪いときは辞めた人も多かった。他の業種にいった人もいたけど、周りを見てもそんなに変わり映えしないし、今にして思えば、ひとつとつとつとにずつとしたおら達のほうが良かったような気がする。

昭和36年、龍川産業がやめるときには退職金が入ってね。その頃出始めたテレビを買ったよ。思わぬ入金でうれしかったな。

昭和47年の七夕豪雨のときには工場が一面水浸しになって胸まで水がきてね。

傘さしてじゃぶじゃぶ歩いてたら側溝にはまった事がある。ちよとど人に見られていて「あら、傘だけになった」なんて言われたっけ。

年2回の旅行も楽しみだったな。秋は社員だけだが、春は家族ぐるみで行ったもんだよ。皆で飲む機会がなかったから、バスの中で大喧嘩したり、旅館の半纏を着て帰ってきたり、事務所の前を木を鉋で伐つたりとらんこがなかったけど。

今も昔も基本的には適材を採っているという点で変わっていない。ただ乾燥とプレナーがついただけ。

歩留まりに関しては今よりうんと厳しくて、丸末より製品のほうが材積増える感じが挽いていた。



製材にも請負があつて、挽き上げで給料が変わつた。だからトロッロしてるよ。のし（木つ端）が飛んできたもんだよ。

おらはだんだん良くなってから定年迎えられるてよかつたんだけど、今は大変な時代だと思ふ。昔、切磋琢磨した同業の人達がみなやめていっている。そんな中でも、フジイチは今でもがんばっている。これがなによりうれしいよ。フジイチは心のふるさとです。

三代目工場長  
大城 友衛さん (77)  
Tomoe OOSHIRO  
昭和23年1月2日入社。  
18歳で入社してから定年まで42年間。  
それから10年働いていたかったです。



# 新成人 vs 研修生

フジイチ社員 大紹介 新入社員に続け

1月13日、無事成人しました。あつという間の20年間。ここまでこれたのも親のお陰です。私は今までたくさんの苦勞を親にかけてきました。それでも心配してくれてました。けど、私はそんな親を裏切つてばかりいました。もう20才。今までみたいに親を頼ってはいられないので少しも親孝行できたらと思います。

フジイチに入つて1年2ヶ月が過ぎました。最高記録です（笑）こんな私を会社の人は温かく接してくれました。山田工場長始め、会社の人達には感謝の気持ちでいっぱい。私は凄く短気なので気に入らないことは態度に出たり、ホント問題児ですがこれからも元気にやっていたらなあと思います。



杉森 かほる (20)  
Kaoru SUGIMORI  
天竜区出身



浅岡弘俊 (29)  
Hirotohi ASAOKA  
中区出身



みなさん始めて。今年の一月二十一日に入社しました浅岡弘俊です。私はもともと山仕事に興味があつたのですが、実際の仕事としての経験は全くなく、今は研修中なので日々勉強の毎日です。今の目標は一日でも早く仕事に慣れて、自分の仕事に誇りを持つてできるようにすることです。しかし体が資本の仕事なので、体調管理はもちろん怪我や事故には十分注意して作業するよう心がけています。みなさん宜しくお願いします。

# 天竜美林で育った 美味い山菜!!



▶写真(上):「山の幸」 わらび、たんぽぽ、つくし、すいば、よめな、よめぎ、ぜんまい、ふき、いたどり  
▶写真(下・右から2枚): 普段はメニューにない料理を無理言って作っていただきました。  
▶写真(左下):「お母さんたち」 左から、大石小世子さん・金田三和子さん・大城ます子さん

桜の花咲く暖かい季節になりました。この頃山では、ひよっこりと山の幸が顔を出します。道の駅、くんま水車の里にご協力した山の幸を使って料理をしていただき、収穫した山の幸をかきた陽気の中、春の息吹を食す。都会では味わえない贅沢です。



これぞ 春の山の魅力!

- ・水車そば
- ・天ぷらそば
- ・味つきご飯
- ・かあさん定食
- ・などなど

その他、舞茸や桜の枕などの地元の物産を販売しております。みなさん天竜にお越しのときは是非お寄り下さい。



# 業界動向「先を読む」

「2000年住宅」のモデル事業が始まる。30/50年で建替えの現状から脱却しようとの試みは、果たして?

2000年って? 急速に進む少子高齢化。過疎化そして消滅する集落。

この問題への論及無くして「2000年住宅」は空虚だ。

住宅は、そこに住まう人々の暮らしの表象であつて、家あつての人々の暮らしではない。

2000年後。「家は残つた。そして人はいなくなった」そんな世であつては困るのである。「2000年住宅」は、室町以来の「文化」となりうるか! (内山千士)



# 今月のぴくちや



花の季節をCUT.  
ひとしきり花嫁。  
3年目の来年こそ  
花嫁かぞつ。  
河津桜。



(内山千士)